



ガバナー月信

vol.06 Dec / 2025



月信12月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 2025-26 年度地区大会
- ③ 米山記念奨学委員会報告
- ④ 地区大会記念ゴルフ大会 目録贈呈
- ⑤ 富山年度クラブ会長幹事ラーニング
- ⑥ ガバナー補佐ラーニング パート2
- ⑦ 財団委員会通信
- ⑧ 地区主要行事予定 (12月・1月)
- ⑨ 新入会員紹介・訃報
- ⑩ コーディネーターニュース
- ⑪ ハイライトよねやま

Rotary
第2560地区



よいことの
ために
手を取りあおう

国際ロータリー第 2560 地区
2025-26 年度

室賀ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574
ホテルイタリア軒 B1
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



ガバナーメッセージ

2025-26 年度ガバナー

室賀 信宏 (白根 RC)

10月25日～26日に地区大会も皆様のご協力をいただき無事終了することができました。改めてお礼を申し上げます。クラブ公式訪問もあと4クラブを残すところとなりました。

さて、11月18日～20日まで開催されました第54回ロータリー研究会に参加してまいりました。今回この機会ですべて初めてアレツォ RI 会長にも、お会いしお話することもできました。アレツォ会長のスピーチにおいて印象的だったことは「平和とはただ単に戦争がないということだけではない」という言葉でした。今回のロータリー研究会にはゲストとしてウクライナより同期ガバナーのオルハさんを始めとし、4名のロータリアンも出席いただきました。まさに戦争真っ最中の中、横浜まで来ていただきました。彼女たちとの会話の中で日本に住む私たちがいかに幸せかを、改めて考えさせられました。確かに平和とは戦争がないことだけではありませんが、ウクライナで戦争が先ずは終結することを願っております。今回は ICC 締結の準備も終了し、これからその先の段階に進んでいきます。

余談になりますが、横浜でインフルエンザに感染発病し 39℃の発熱と咳がひどく、大変苦しい思いをしました。横浜に行く1週間前にはワクチン接種を済ませて出かけたのに、感染してしまいました。おそらく接種からの日数が、抗体のできるまでの十分な期間に足りなかったのではないかと思います。今年はインフルエンザの流行が早く始まり、感染者の数も多いと聞いております。皆様におかれましてもご自愛くださいますようお願い申し上げます。



2025-26 年度地区大会開催

地区大会担当幹事

小林 諒 (白根 RC)

2025年10月25～26日

1日目 ホテルイタリア軒

2日目 ANA クラウンプラザホテル新潟

ホストクラブ 白根 RC

コ・ホストクラブ 新潟南 RC、新津 RC、村松 RC、新津中央 RC、阿賀野川ライン RC

室賀信宏ガバナーは地区目標「ロータリーで善の循環を」ロータリアンの指針とされました。3月のPETSから始まり、地区協議会・地区大会記念ゴルフ大会を終え最大のイベント地区大会が開催されました。

森川昭正 RI 会長代理をお迎えし、1日目は地区指導者育成セミナーを、2日目は本会議が盛大に開催されました。1日目の地区委員長の報告のあと、公益財団法人ロータリー日本財団理事服部良男氏が基調講演をされました。森川昭正国際ロータリー会長代理歓迎晩餐会では南区出身の小杉真二さんのピアノ演奏に酔いしれたひとときを過ごし、手に手をつないで1日目を締めました。本会議では花角県知事、中原新潟市長始めご来賓のご挨拶、大会委員会報告、各種表彰が行われました。午後からの活動報告、そして、記念講演では公益財団法人結核予防会理事長 尾身茂氏より「ポリオ根絶」についてご講演いただきました。ロータリー親睦交流会は約800人が一同に会し、新潟 Yossy Big band のジャズ演奏が、はち切れんばかりに会を盛り上げ終了となりました。2日間の大会は学びと友愛であふれ、手を取り合っ前に進んでいくことを誓いあいました。絆を深める2日間でした。







地区大会における 米山記念奨学委員会報告

米山記念奨学委員会
奨学生学友委員会

飯田 雄介 (柏崎 RC)

地区ロータリアンの皆様におかれましては日頃より米山記念奨学事業にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、去る10月25日(土)、26日(日)「2025-26年度 国際ロータリー第2560地区 地区大会」が開催されました。

1日目はホテルイタリア軒にて「地区指導者育成セミナー」「国際ロータリー会長代理歓迎晩餐会」、翌10月26日(日)にはANAクラウンプラザホテル新潟にて「本会議」「ロータリー親睦交流会」が行われました。両日とも会場入り口にて米山奨学生と共に寄付活動をさせていただきました。今回は奨学生達が母国の衣装を身にまとい、それぞれのお茶を来場されたロータリアンの皆様に振舞いました。奨学生達にとってロータリアンの皆様に母国の文化に触れてもらったことは貴重な経験であり大変喜んでおりました。皆様から頂いた心のこもったご寄付は2日間合計255,373円となり10月27日付で米山記念奨学会へ送金させていただきました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



また、2日目の本会議では米山記念奨学生を代表して 呉 鳴（ゴメイ）さんからとても流暢な日本語で活動報告がありました。発表後、「トテモキンチョウシマシタ」と、はにかみながらほっとした表情を見せてくれたのがとても印象的でした。堂々とした大変素晴らしいものでした。

最後になりますが、将来母国と日本との交流の懸け橋となり国際社会での活躍が期待される奨学生への継続的な温かいご支援と、引き続き米山記念奨学事業へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



地区大会記念ゴルフ大会 目録贈呈

11月11日、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス「にいがたハウス」に於いて、大会実行委員長の田伏厚志氏より目録が贈呈されました。同ハウスは新潟大学医歯学総合病院の近くにあり、入院または通院中の原則20歳未満の患者と付き添い家族が利用できます。利用料金は一人1日1,000円(税込)と利用し易く、快適な居住空間となっています。今回の寄付はゴルフ大会の参加費の一部を贈呈するものです。大会に参加された皆様のご厚意に感謝いたしております。当日は白根RC子ども農園で栽培された大根やキャベツなどの新鮮な野菜と果物を一緒にお届けいたしました。

*ドナルド・マクドナルド・ハウスとは・・・病気の子どもとその家族が利用できる滞在施設です。遠く離れた病院に入院・通院している子どもとそのご家族のための滞在施設です。1974年アメリカ、フィラデルフィアから始まりました。にいがたハウスには10部屋が準備されています。詳しくはホームページ、フェイスブック、エックスで





富山年度クラブ会長幹事 ラーニング開催のご報告

地区ラーニング委員会
委員

早川 滝徳 (三条 RC)

皆様には日頃より地区ラーニング委員会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、去る11月1日(土)にあてま高原リゾート ベルナティオにて、第2560地区の会長エレクトと幹事エレクトの皆様にお集まりいただき、富山年度クラブ会長幹事ラーニングを開催いたしました。当日は、総勢108名の参加をいただき開催いたしました。3連休初日の大変お忙しい中、多くの方々からご参加いただいたこと感謝いたします。

会長幹事ラーニングですが、後日行われますPELS(旧PETS)の前に、会長・幹事としての役割、心構えを再確認し、クラブ運営をスムーズに取り組めるようになることを目的としています。本ラーニングは、2部構成にて実施いたしました。まず第1部は「クラブ会長のガイドライン」と題して、高橋秀樹地区ラーニングファシリテーター、山本剛史チームリーダー(新潟南RC)と高村裕樹委員(雪国魚沼RC)がロータリーの基本の確認、クラブ目標、運営年間スケジュール、マイロータリーとラーニングセンターの活用等を説明させていただきました。

第2部は「ガバナー補佐と語ろう」と題して、各分区ごとに分かれて行われました。それぞれの各分区の次年度ガバナー補佐を中心に自己紹介、クラブ協議会、情報共有をどうするかといった内容で進みましたが、この早い時期に各分区で顔合わせができたということは今後の各分区の取り組みでも有意義であったかと感じます。

ラーニングの後は懇親会が開催され、くじ引きでの席でそれぞれの分区の会長・幹事の皆様とガバナーエレクト、ガバナー補佐の皆さんが交流できたかと思えます。参加された皆様大変ありがとうございました。







ガバナー補佐ラーニング・ パート 2 開催のご報告

地区ラーニング委員会
地区ラーニングチーム
委員

土田 隆一 (村松 RC)

日頃より、地区ラーニング委員会の活動にご理解ご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。去る 10 月 4 日 (土) 長岡市のまちなかキャンパス長岡 301 会議室にて、ガバナー補佐ラーニング・パート 2 が開催されました。各分区から次年度のガバナー補佐候補の方々と富山洋ガバナーエレクト、高橋秀樹地区ラーニング委員会委員長はじめ 30 名弱の方々が参加されました。

ボーイドサブリーダーの司会でスタートしました。富山洋ガバナーエレクトの挨拶に始まり、続いて高橋秀樹地区ラーニング委員会委員長の挨拶がありました。そしてガバナー補佐候補ラーニングが始まりました。ラーニングの内容は 1. 「研修の目的」 2. 「IM について」 3. 「パート 1 のおさらい」 4. 「DPL について」 5. 「ガバナー補佐について、語ろう」 6. 「ラーニングセンターにトライ」と幅広い内容のラーニングでした。青木学委員の研修目的についての説明があり、関川博ラーニングファシリテーター補佐より、IM の詳しい歴史に始まり、現在の 2560 地区の IM の運営状況についての話がありました。2560 地区では、ガバナー補佐の一番の仕事は、IM を無事に終える事だと考えられていましたが、IM は、そもそもガバナーの裁量で行うイベントであり、ガバナー補佐の責務に IM の開催は、ないとの説明がありました。そして「ガバナー補佐の役割」、「DLP について」の説明後、西方太地副委員長の進行で、3 つのグループに別れ、ファシリテーション形式で、「ガバナー補佐を語ろう」のテーマで、それぞれのグループごとに意見を出し合いました。ガバナー補佐は、「ガバナーと地区の橋渡しの役割」、「各クラブへ訪問し状況を把握、悩み事を吸い上げる」、等の活発な意見が出ました。その後、関川博ラーニングファシリテーター補佐より講評があり、高橋秀樹地区ラーニング委員会委員長より了証授与が行われ無事、ガバナー補佐ラーニング・パート 2 は、終了しました。研修後には、ガバナー補佐候補の皆様のやる気、情熱に満ちた表情を感じました。

このように地区ラーニング委員会は、これからも充実した研修会を開催できるよう取り組んでいきたいと思っております。今後も皆様からのご指導ご鞭撻ご理解のほどよろしくお願い致します。



「世界でよいことをしよう」 財団委員会通信

三条市内 4RC 合同事業「ポリオ撲滅 PR 募金」

ロータリー財団委員会

副委員長 大竹 賢一 (三条東 RC)

11月9日に三条市の中央商店街で行われたイベント「三条マルシェ」に、三条 RC、三条南 RC、三条北 RC、三条東 RC の4クラブが合同で出店し、ポリオ根絶に向けた PR と物販、募金活動を行いました。この催しに私達ロータリー財団委員も応援として参加し、一緒にチラシや風船配布、募金の呼びかけをしましたので報告します。

当日は曇りのち雨のあいにくの天気でしたが、三条市のロータリアンと共に赤いポリオプラスの T シャツを着て店頭に出ました。子供連れにはポリオプラスの風船を配り、イベントに集まる市民の皆さんに募金をお願いしました。三条 RC では果物の販売、三条東 RC では飲食業の会員による弁当販売も行われ、購入者にチラシを渡して募金をお願いするなど、工夫した運営が行われました。また、財団委員会のゲストとして村上 RC の交換留学生、マーシャル君も参加し、一緒に風船配布したり、地域の小中高生の出店を回って交流したりと、国際奉仕の一面も感じることができました。

設営から、夕方の会場全体の後片付けまでポリオの T シャツを着た延べ 50 人のロータリアンが活動したことは、ポリオプラスだけでなく、ロータリーの公共イメージの向上にもなったと思います。

結果として募金額は 44,689 円集まり、物販の売り上げの一部 17,000 円を募金に協力いただき、合計 61,689 円が集まりました。募金は 4 クラブで等分の上、ポリオプラスに寄付されます。ポリオ根絶まであと少し。みなさんもクラブ内で寄付をするだけでなく、地域イベントなどを活用した募金活動を検討してみてもはいかがでしょうか。

現在ロータリー財団委員会では、「ポリオプラスソサエティ (PPS)」の入会をお願いしています。年間 100 ドル以上の寄付をお約束していただくと、専用バッジとともに PPS メンバーとして認証されます。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

今後ともロータリー財団へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



第 2560 地区 2025-26 年度 10 月末 会員数報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2025年 7月1日	10月末 会員数	うち女性	増減
第1分区 (9クラブ)	3	-	378	381	45	3
新発田	3	31.9%	90	91	1	1
村上	4	23.7%	38	38	8	0
水原	3	31.4%	34	35	2	1
中条	4	100.0%	48	49	3	1
新発田城南	4	23.7%	38	38	5	0
豊栄	2	35.0%	21	20	2	-1
新発田中央	5	15.6%	44	45	6	1
中条胎内	4	51.3%	39	39	11	0
村上岩船	4	26.9%	26	26	7	0
第2分区 (9クラブ)	4	-	453	469	36	16
新潟	4	35.4%	74	76	3	2
新潟東	4	17.3%	66	75	12	9
新潟南	5	38.3%	114	115	8	1
佐渡	2	66.7%	3	3	0	0
新潟西	4	64.3%	53	56	4	3
佐渡南	3	11.6%	43	43	3	0
新潟北	2	30.0%	37	40	1	3
新潟中央	3	37.5%	24	24	0	0
新潟万代	3	56.8%	39	37	5	-2
第3分区 (5クラブ)	4	-	97	100	9	3
新津	4	62.5%	16	16	1	0
村松	4	68.4%	19	19	1	0
白根	5	29.4%	32	34	2	2
新津中央	4	40.0%	25	26	5	1
阿賀野川ライン	3	60.0%	5	5	0	0
第4分区 (11クラブ)	5	-	343	344	33	1
三条	5	17.9%	54	56	1	2
燕	3	10.0%	41	40	3	-1
加茂	4	14.8%	27	27	4	0
三条南	3	20.5%	38	39	3	1
分水	4	66.7%	33	33	4	0
見附	3	10.0%	20	19	1	-1
吉田	3	0.0%	23	22	3	-1
三条北	4	19.6%	46	46	5	0
巻	3	8.7%	22	23	2	1
田上あじさい	4	16.7%	5	5	2	0
三条東	4	23.5%	34	34	5	0

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2025年 7月1日	10月末 会員数	うち女性	増減
第5分区 (7クラブ)	3	-	283	291	28	8
長岡	3	60.9%	43	46	5	3
柏崎	4	35.4%	45	48	0	3
長岡東	3	33.3%	57	57	7	0
柏崎東	3	19.5%	38	41	4	3
栃尾	4	36.8%	19	19	1	0
長岡西	3	22.7%	46	44	1	-2
柏崎中央	3	27.8%	35	36	10	1
第6分区 (6クラブ)	3	-	117	120	14	3
十日町	3	26.3%	38	38	8	0
小千谷	3	17.9%	25	28	3	3
雪国魚沼	3	76.0%	25	25	2	0
十日町北	3	0.0%	9	10	1	1
津南	2	36.4%	12	11	0	-1
越後魚沼	2	50.0%	8	8	0	0
第7分区 (7クラブ)	4	-	305	319	22	14
高田	4	37.3%	63	67	3	4
直江津	3	33.8%	74	77	6	3
新井妙高	3	21.6%	36	37	1	1
糸魚川	4	81.4%	45	46	3	1
高田東	3	50.0%	30	32	2	2
糸魚川中央	4	60.6%	30	33	3	3
越後春日山	4	81.5%	27	27	4	0

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,976 人
10月末会員数	2,024 人
女性会員数	187 人
純増減会員数	48 人
My Rotaryアカウント登録率	36.6 %

地区主要行事予定

2025年11月21日現在

年	月	日	行 事	会 場	
2025年 (R7) 室賀年度	12月	疾病予防と治療月間			
		4	(木)	④燕RC 公式訪問	燕三条ワシントンホテル
		6	(土)	富山GE渡米壮行会・地区諮問委員会・第1回地区運営会議	ホテルオークラ新潟
		7	(日)	全国青少年交換委員長会議	東京都
		11	(木)	④三条東RC 公式訪問	三条ロイヤルホテル
		13	(土)	ROTEX会議	ホテルオークラ新潟
		13	(土)	第1回派遣学生オリエンテーション・クリスマスパーティー	ホテルオークラ新潟
		18	(木)	③白根RC 公式訪問	サルナート吉運堂
		20	(土)	米山学友会クリスマス会	割烹 一楽
		21	(日)	インターアクト献血奉仕活動	新潟市、上越市
2026年 (R8) 室賀年度	1月	職業奉仕月間			
		11~15	(日~木)	国際協議会	オーランド(米国フロリダ州)
		17	(土)	2026学年度米山記念奨学生選考会	万代シルバーホテル
		31	(土)	国際協議会報告・地区チームラーニングセミナー・地区諮問委員会・第2回地区運営会議	ホテルイタリア軒

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
新潟東	南場 一宏	2025.10.03	(株)新潟容器製作所	代表取締役社長	金属製品製造業
新潟東	大塚 健太	2025.10.03	ミサワホーム北越(株)	主査	総合建築業
高田東	中村 茂雄	2025.10.06	(有)上越紺太	代表取締役社長	寝具小売業
長 岡	金子 誠	2025.10.28	(株)ウェットランドリー	代表取締役	クリーニング業
長岡東	広野 茂則	2025.11.12	(株)富山第一銀行 長岡支店	支店長	銀行業
長岡東	田村 省太	2025.11.12	大和証券(株) 長岡支店	支店長	証券業

【訃報】 ご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
新発田中央	八木 妙静	2025.11.16	すき焼き八木		飲食業	



第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 漆原 摂子（勝浦 RC）

PHSとPPS

PHS(ポール・ハリス・ソサエティ)とは、年次基金やポリオプラス基金等へ、毎年1,000ドル以上をご支援くださる方への個人の認証で、世界157ヶ国に35,000人の会員がいます。PHS会員によるご寄付は、ロータリー財団全体の寄付総額の21%以上、またロータリー財団年次基金の寄付総額の23%以上を占めています。今年度日本では、各地区10名の増員を目標としていますので、是非クラブ会員の皆様へお声がけ下さい。

PPS(ポリオ・プラス・ソサエティ)は、PHSよりも少額-年間100ドルをポリオプラス基金へご支援くださる方への認証です。こちらも今年度の日本の目標値は、各地区50名の増員です。PPSの登録は、各地区で取り纏めとなっておりますので、根絶まであと少しのために、併せてご協力をお願い申し上げます。



恒久基金

年次基金が今日のロータリー活動を支える基本的なご寄付ならば、恒久基金へのご寄付は、未来において持続可能なプロジェクト実施のための財源です。恒久基金は投資され、元本が支出されることはなく、収益の一部が活動資金となり、恒久的な支援となります。

今年の決議審議会で、「恒久基金に寄付した人をポール・ハリス・ソサエティ入会の対象とすることを検討するよう管理委員会に要請する件」が採択されました。今までは恒久基金への1,000ドル以上のご寄付は、ベネファクターという認証はございましたが、PHS入会の対象外でした。今般の決議審議会の採択を受け、改めて管理委員会にて討議され、承認されますことを期待致します。

AGO 近藤かおり氏

国際ロータリー日本事務局財団室のAGO(寄付推進オフィサー)近藤かおり氏をご存じでしょうか？ロータリー財団のエキスパートで、地域毎の地区財団委員長会議などで、財団に関するレクチャーをいただいております。毎回感じるのですが、我々ロータリアンとはまた視点の異なる分析やコメントをいただけることです。私が所属する第2790地区でも、今年9月に開催されたロータリー財団セミナーで、近藤氏を講師として招聘し、地区内会員へ向けプレゼンテーションを実施していただきました。地区内会員からは、マンネリとなりがちな地区セミナーが変わり、新鮮で良かった、大変勉強になったとお声をいただいております。皆様の地区におかれましても、近藤氏によるプレゼンテーションを推奨致します。



美味しい、楽しい、優しい 台北国際大会 — All Japan で一万人の笑顔を！

第2地域 台北国際大会推進チーム 吉川 公章（名古屋南 RC）

2026年ロータリー国際大会は、6月13日(土)～17日(水)、台北ドームをメイン会場として開催されます。RI 台北国際大会推進コーディネーター・出村知佳子さん(札幌北 RC)を中心に、日本地区チームが力を合わせて準備を進めています。日本からの参加目標は1万人。台湾は日本から近く、多くのクラブが友好関係を築く“心の距離の近い国”です。豊かな文化、美味しい食、温かな人々、そのすべてが私たちが優しく迎えてくれるでしょう。



㊦ 主なプログラム

6月14日(日) 開会式(午前・午後の2回の予定)

6月15・16日(月・火) 全体会議(午前)

6月17日(水) 閉会式(午後)

さらに、恒例のRI 理事主催親善朝食会も開催予定です。

日時：6月14日(日)午前7時～ 会場：圓山大飯店(Grand Hotel Taipei)12階
朝の台北を一望、美味しい朝食をとりながら国際的な交流の輪が広がります。

㊦ 登録状況と早期登録のおすすめ

11月3日時点の登録者数は全世界で31,130人、そのうち台湾22,918人、日本1,686人。日本は現在第3位ですが、「台湾に次ぐ登録者数 10,000人」を目指しています。

登録料は早期割引が適用されます：

12月15日まで475ドル、2026年3月31日まで575ドル、4月以降675ドル

30歳以下のクラブ会員・会員以外の方および同伴者には、さらにお得な特別料金が

設定されています。ぜひ My Rotary から早めの登録を！ 大会登録はこちら →

<https://convention.rotary.org/ja>



㊦ 国際大会に参加する意義

国際大会は、刺激・鼓舞・激励・情報共有の場であり、ロータリーの戦略目標を推進するための重要なフォーラムです。世界中のロータリー会員が一堂に会し、国境を超えた友情を育む貴重な体験ができます。参加した会員は「ロータリーの一員である喜び」を改めて実感し、退会率が低下する傾向があることも報告されています。クラブの仲間、ご家族、そしてロータリー未会員の友人にもぜひ声をかけ、台北ドームを日本の笑顔で満たしましょう！

㊦ 日本地区チーム紹介 日本地区のコーディネーターチームは以下の3名です：

- 第1地域：岡村 睦美(2770地区・川口 RC)
- 第2地域：吉川 公章(2760地区・名古屋南 RC)
- 第3地域：大橋 秀典(2660地区・東大阪東 RC)

All Japan の力を結集し、「美味しい・楽しい・優しい」台北で、友情と奉仕の輪をさらに広げましょう。

台北でお会いしましょう！



第3地域 ロータリー会員増強コーディネーター補佐 延原 健二（大阪大淀 RC）

ロータリーの最重要課題は会員増強であり、そのためには、クラブ活性化が必要です。伸び続けていた世界のロータリー会員数は、2000 年前後をピークに減少に転じます。規定審議会において、2016 年には「柔軟性」をキーワードに例会と出席、会員身分に柔軟性を認め、2019 年には「さらなる柔軟性と革新性」を標榜し職業分類の制限廃止が決められました。従来のロータリーを尊重しつつ、時代に即した組織として発展・進化を目指す決定でした。

■このような背景から生まれたのが「Action Plan(行動計画)」です。

RI は明確なビジョンを定めて(ビジョン声明)、それに向けての 4 つの優先事項を設けました。RI が定めた単年度の具体的目標に対して、各クラブに数値で目標を設定するように求めた点(数値化)に革新性がみられます。自クラブの目標を明確にすることにより、モチベーションの向上と評価の客観化を可能としました。



■「3-year rolling goals」

Action Plan の考え方の基、継続性、単純化、柔軟性が加味されました。

継続性：目標設定を単年度から 3 年先までに

単純化：重点目標項目を 6 項目へ(従来の 13 項目も併存)

柔軟性：毎年(定期的に)目標を見直し更新する

「3-year rolling goals」は、クラブの未来(3 年先)を考える仕組みです。

■「クラブサポートミーティング」

クラブに定期的に目標項目の数値入力をお願いして、その時点での目標達成度を可視化し、クラブの抱える悩みや問題点をクラブ間で共有します。さらに、ガバナーからクラブの悩みや問題点に対するアドバイスやサポートを得る制度です。「クラブサポートミーティング」はクラブの現状を見つめる制度です。この制度は 3 段階のミーティングから成ります。

① 招聘者：ガバナー、対象者：クラブ会長

② 招聘者：地域リーダー、対象者：ガバナー

③ 招聘者：RI 理事、対象者：地域リーダー

RI 理事と地区・クラブとの橋渡し役である地域リーダーを機能的に活用した制度でもあります。

■「3-year rolling goals」と「クラブサポートミーティング」、2 つの制度を活用してクラブ活性化を図り会員増強に繋がしましょう！

3-year rolling goals + クラブサポートミーティング

クラブの未来を考える

クラブの現状を見つめる



クラブ活性化、会員増強



1 「歯磨きを習慣に」モンゴルの学校に歯磨きコーナー設置

モンゴルのウランバートル市チンゲルテイ区にある第39番小学校と第72番小学校に「歯磨きコーナー」が新設され、開設セレモニーが10月6日に行われました。セレモニーには当財団の若林紀男理事長が出席しました。



磨き専用コーナー」を設けることで、子どもたちが歯磨きの習慣を身につけられる環境づくりを進めました。

モンゴルでは、子どもたちに歯磨きをする習慣が定着しておらず、多くの子どもの何らかの歯科疾患を抱えている現状があります。しかし、多くの学校では洗面台がトイレ内にしか設置されていないことが課題でした。そこで、モンゴル米山学友会主導で、トイレとは別の場所に「歯

また、第2610地区米山学友会が初の国際奉仕活動としてモンゴル米山学友会と協働し、このプロジェクトを支援。13日に現地で開催されたセレモニーには、第2610地区学友会会長の範篤偉さん（2015-17/小矢部RC）が出席し、国を越えた学友会同士の交流が行われました。

今後はウランバートル市内の他の学校に歯磨きコーナーを設置する計画が進められています。

2 2026学年度奨学金申込み状況

10月15日に締め切りを迎えた2026学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士/地区奨励）には、指定校610キャンパス（前年度586キャンパス、地区を越えた指定校の重複含む）から1,364人（前年1,206人）が推薦されました。被推薦者の国・地域は、中国47.2%（51.4%）、ベトナム12.5%（11.9%）、韓国8.4%（9.3%）、ミャンマー4.6%（2.5%）、ネパール3.7%（3.6%）、インドネシア3.7%

（2.7%）で続いています。

課程別の応募状況は、博士課程15.5%（17.6%）、修士課程35.8%（37.6%）、学部課程45.7%（41.5%）となっており、2019年度以降、学部生の申込みが最も多い傾向にあります。なお、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、8地区18校から計41人（7地区17校39人）の応募がありました。

3 国際交流授業で高校生の異文化理解促進

10月15日、第2750地区米山学友会が東京都立小平高等学校にて、2年生を対象とした国際交流授業を実施しました。



講師として参加した米山学友たち

今回の授業には、9人の米山学友が講師として参加。2年生の9クラス、約320人の高校生に向けて、自国の歴史や文化、日本留学のきっかけ、現在の仕事などを紹介しました。登壇した中国出身

の米山学友の一人は、「なぜ中国・江南地域の伝統的建築は白い壁に黒い瓦なのか」といったトピックを用意し、文化や言語、社会背景を交えて説明。生徒たちは熱心に耳を傾け、普段何気なく抱いていた疑問について質問し、異文化への理解を深める意義ある時間となりました。

4 寄付金速報 — 米山月間のご寄付に感謝！ —

前年同期比

-7.9%

普 -2.2% 特 -11.8%

10月までの寄付金は、前年同期と比べて7.9%減(普通寄付金:2.2%減、特別寄付金:11.8%減)、約4,200万円の減少となりました。

大口寄付および会員数の減少が、特別寄付金の減少につながり、結果として全体の寄付額にも影響を及ぼしています。

今年も残り2カ月を切りました。引き続きご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

5 3人が紺綬褒章受章 2度目の受章者も

第2630地区(岐阜県・三重県)上野RCの丸山統正氏が、6月21日付で紺綬褒章飾版を受章しました。10月14日の同クラブ例会にて伝達式が行われ、当財団の若林紀男理事長から章記と飾版が伝達されました。丸山氏は2021年5月、当財団としては初となる紺綬褒章を受章され、今回が2度目。当財団への寄付で2度受賞されたのも丸山氏が初めてとなります。

また、第2680地区(兵庫県)芦屋RCの宮本一氏が7月30日付で、第2700地区(福岡県・長崎県・佐賀県)博多イブニングRCの小山田浩定氏が8月27日付で、それぞれ紺綬褒章を受章しました。

紺綬褒章は、公益のために私財を寄付し、そ



2度目の受章となった丸山氏(前列左から5番目)

の功績が顕著な個人または団体に対して天皇陛下より授与される褒章で、当財団は2018年9月に紺綬褒章の公益団体認定を受けています。受章された皆さまに、心よりお祝い申し上げます。

6 横のつながりを強化「ロータリーユースの集い」開催

10月12日、第2790地区(千葉県)の地区大会に合わせて「地区大会ロータリーユースの集い」が開催され、同地区米山奨学生・学友36人のほか、青少年交換留学生、ROTEX、ロータリーアクトなど、計80人が参加しました。このイベントは、ロータリーの新世代が横のつながりを築くことを目的に発足し、各プログラムに関わる若い世代が一堂に会する貴重な機会です。当



日はアイスブレイクや懇親会を通じて活発な交流が行われ、互いの活動への理解を深めました。

参加した同地区米山学友会事務局長の蘇爾娜さん(2023-25/茂原RC)

は、「ロータリーで展開されている他のプログラムの若者同士が集い、さまざまな国籍や年齢の方々と交流できるこの場は、本当に意義深いものです」と語りました。

米山学友の顔

よねやま親善大使をお招きください

活躍する米山学友の代表として、当事業のあらましや自身の活動、ロータリーと交流し、学んだ経験が人生においてどのように生かされているか等をお話します。現在、第6代よねやま親善大使が活動中です。地区大会や米山セミナー、奨学生のオリエンテーションや歓送会等でのスピーチに、ぜひお招きください。

詳細はこちら

